

【六甲高山植物園】 巨大なヒマラヤウバユリ まもなく開花！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、巨大な「ヒマラヤウバユリ」がまもなく開花する見込みとなりました。

当園のヒマラヤウバユリは、2020年、初開花に成功しました。六甲高山植物園での本種の開花は2020年、2021年に続き3回目となります。今年は3株が成長しており、開花後6月下旬までお楽しみいただける見込みです。



◆ヒマラヤウバユリ(ユリ科)

ヒマラヤから中国の標高2500～3500mに自生し、草丈が3m以上にも達する巨大な球根植物です。白色で香りのよい花を8～15個、やや下向きに咲かせます。1度開花すると、その球根からは開花しなくなり、繁殖は脇の球根を育てるか結実した種子を播種します。当園のアドバイザー森和男氏によると「種子から開花まで8年かかり成長が遅いので、日本で栽培しているところはあまりなく、珍しい。」とのこと。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL: 078-891-1247 / FAX: 078-891-0137

住所: 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】～11月23日(木・祝) 【休園日】6月22日(木)、29日(木)、7月6日(木)、13日(木)

【開園時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)900円 / 小人(4歳～小学生)450円【駐車場】1,000円

※荒天等により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。